

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月14日
09時02分55秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0013010000	会計室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00787	審査事務			
章	08	基本計画推進のために			
節	04	計画的な行財政運営の推進			
細節	00				
予算事業	10034	01	02	01 01 14 01 01	審査事務（一般管理費）
所属長	保木本 薫	担当者（内線）吉岡 直樹（2784）			
根拠法令等	1 地方自治法第170条 2 所得税法第6条				
事業開始年度	不明	直近の改正	平成19年度		
改正内容	収入役制度の見直しに伴い規則改正「収入役（特別職）」から「会計管理者（一般職）」へ				
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	1 支出に伴う負担行為、支出命令書他各種伝票、支出命令書、債権者 2 職員給与等の源泉徴収に係る所得税及び職員等税徴収対象者、国・地方公共団体		
目標	1 各種伝票に誤りがないか、適正かを審査する。不備があれば指摘し、適正な状態にさせる。 2 毎月の所得税について誤徴収がないように精査する。		
結果	適正な会計事務により、市民の信頼性維持に資する。		
事業概要	1 支出に伴う負担行為、支出命令書他各種伝票について審査する事務 2 職員給与等の源泉徴収に係る所得税の納付に関する事務 (一部年末調整事務含む)		
実施方法	■ 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容		
	交付先①		
	交付先②		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	132	87	139	103	108
人件費職員数(人)	5.00	4.50	5.00	5.00	5.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	40,850	35,550	40,260	40,260	39,725
総事業費(A+B)	40,982	35,637	40,399	40,363	39,833
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	40,982	35,637	40,399	40,363	39,833
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	40,982	35,637	40,399	40,363	39,833
財源計(C+D)	40,982	35,637	40,399	40,363	39,833

所属	会計室
事務事業番号	00787

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	1 支出命令書等処理件数、負担行為の確認件数、審査相談・指摘件数他 2 税納付書枚数他	件	目標値	323,654.00	313,748.00	0.00
			実績値	323,654.00	313,748.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	処理依頼を受けた帳票等について全て処理を行うことから算定。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.11	0.13	
			一般財源(千円)	0.11	0.13	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
1 債権者への支払い、適正な予算執行、円滑で効率的な会計運営等の効果が得られる。 2 納税義務者として適正に徴収・納付を行っている。	達成状況 成果指標の設定は困難

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	地方自治法により、実施が定められた業務であり継続が必要であると考え。

事務事業分析シート

所属名	会計室	事業名	審査事務	事業区分	内部管理
事務事業番号	00787				

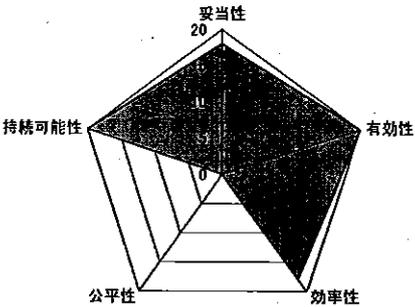
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>適正な会計事務の確保のため、担当従事職員の外部研修への参加を積極的に行うとともに、庁内経理担当職員向けの会計事務研修については、演習問題を取り入れて受講者参加型の研修にするなどして全体的に見直し実施した。また、事務マニュアル、FAQなどを改善することにより、職員の能力向上を図ることで審査業務負担の軽減に取り組んでいる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月14日
09時03分42秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0013010000	会計室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00788	出納管理事務							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	10035	01	02	01	01	14	02	01	出納管理事務（一般管理費）
所属長	保木本 薫				担当者（内線）橋田 幸代（2786）				
根拠法令等	地方自治法第170条、地方自治法施行令第168条の4他								
事業開始年度	不明	直近の改正			平成19年度				
改正内容	収入役制度の見直しに伴い、規則改正。「収入役」から「会計管理者」へ。								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	1. 納入義務者、債権者、金融機関等 2. 現金出納関係各帳票		
目標	法令、規則に基づき、収入支出の効率的な執行を図り、帳票の保管等事務を適正に行う。		
結果	適正な会計事務により、市民の信頼性維持に資する。		
事業概要	1. 歳計現金、歳入歳出外現金、運用基金等の収入額、支出額の把握 2. 積立基金の運用 3. 現金及び有価証券の出納、保管、記録 4. 指定金融機関、収納代理金融機関に対する検査		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,044	979	1,078	1,016	927
人件費職員数(人)	4.00	3.50	3.00	3.00	3.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	32,680	27,650	24,156	24,156	23,835
総事業費(A+B)	33,724	28,629	25,234	25,172	24,762
特定財源(C)	2	2	2	2	1
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	2	2	2	2	1
市負担(D)	33,722	28,627	25,232	25,170	24,761
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	33,722	28,627	25,232	25,170	24,761
財源計(C+D)	33,724	28,629	25,234	25,172	24,762

所属	会計室
事務事業番号	00788

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	収入小票（ゆうちょ銀行取扱分含む）処理件数他	件	目標値	1,533,874.00	1,542,145.00	0.00
			実績値	1,533,874.00	1,542,145.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	処理依頼を受けた帳票について、全て処理を行うことから算定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.02	0.02	
			一般財源(千円)	0.02	0.02	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	口座振込、納付書払等支払処理件数他	件	目標値	694,407.00	676,104.00	0.00
			実績値	694,407.00	676,104.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	処理依頼を受けた帳票について、全て処理を行うことから算定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.04	0.04	
			一般財源(千円)	0.04	0.04	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 適正な会計事務を行うことにより、市民からの信頼が得られている。	達成状況 成果指標の設定は困難

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	地方自治法により、実施が定められた業務であり継続が必要であると考えます。

事務事業分析シート

所属名	会計室	事業名	出納管理事務	事業区分	内部管理
事務事業番号	00788				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	97	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

正確かつ迅速な会計事務を行うとともに、公金の適正な管理、余剰資金の安全かつ有利な運用に引き続き努めている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>当事業事務の現金や有価証券の出納及び保管・記録、小切手の振出しは、地方自治法により会計管理者職務権限として定められた業務であり、また指定金融機関の検査は地方自治法施行令で定められた業務である。適正な会計事務の確保のため、担当従事職員の外部研修への参加を積極的に行った。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月14日
09時04分26秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0013010000	会計室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00789	物品管理事務						
章	08	基本計画推進のために						
節	04	計画的な行財政運営の推進						
細節	00							
予算事業	10036	01	02	01	14	03	01	物品管理事務（一般管理費）
所属長	保木本 薫		担当者（内線）吉岡 直樹（2784）					
根拠法令等	地方自治法第170条、地方自治法施行令第170条の4他							
事業開始年度	不明	直近の改正		平成26年度				
改正内容	吹田市財務規則 効率的な物品管理を行うため各室課に物品出納員、物品取扱員を設置。 吹田市物品分類基準 備品の価格、及び重要物品の価格を変更。							
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）							

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	備品、他の購入物品、事務用品 物品出納員、物品取扱員		
目標	法令、規則等に基づく、適正な物品の出納、備品の出納状況記録、管理等を行う。		
結果	適正な会計の執行、円滑で効率的な会計運営により、市民の信頼性維持に資する。		
事業概要	物品出納員、物品取扱員に対する物品の出納や保管に関する事務の指導等、備品管理に関する事務及び会計室に返納された備品の不用品処分に関する事務		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	176	95	183	76	56
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	4,261	4,045	4,209	4,102	4,029
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,261	4,045	4,209	4,102	4,029
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,261	4,045	4,209	4,102	4,029
財源計(C+D)	4,261	4,045	4,209	4,102	4,029

所属	会計室
事務事業番号	00789

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	備品受入異動関係帳票処理件数等	件	目標値	7,190.00	6,615.00	0.00
			実績値	7,190.00	6,615.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	処理依頼を受けた帳票について、全て処理を行うことから算定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.56	0.62	
			一般財源(千円)	0.56	0.62	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	法令、規則等に基づく適正な備品の出納状況記録、管理、適正な会計の執行、円滑で効率的な会計運営の効果により、市民の信頼が得られる。	達成状況	成果指標の設定は困難

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	地方自治法により、実施が定められた業務であり継続が必要であると考え。		

事務事業分析シート

所属名	会計室	事業名	物品管理事務	事業区分	内部管理
事務事業番号	00789				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
b. 実施意義は今もある。(3点)	3点		
④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点		
④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	会計室	事務事業番号	00789
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

管理備品の貸出業務の他、物品出納員、物品取扱員等に対し物品会計事務について文書による指導を行った。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>適正な物品事務の確保のため法令で定められた備品の保管事務及び記録管理について、物品出納員、物品取扱員に対し、文書による指導を行い、職員の能力向上に取り組んでいる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月14日
09時05分02秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0013010000	会計室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00790	財務会計システム事業						
章	08	基本計画推進のために						
節	04	計画的な行財政運営の推進						
細節	00							
予算事業	11235	01	02	01	01	01	01	財務会計システム事業（一般管理費）
所属長	保木本 薫				担当者（内線）高田 貴士（2885）			
根拠法令等	なし							
事業開始年度	平成24年度	直近の改正		なし				
改正内容	なし							
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）							

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	財務会計システム		
目標	財務会計システム及び公会計システムの安定稼働		
結果	適正な財務会計処理が維持できる。		
事業概要	財務会計システムの保守運用		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	富士通（株）関西支社
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	財務会計システムの保守運用
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	16,459	21,976	16,465	16,444	44,883
人件費職員数(人)	1.00	0.40	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	3,160	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	24,629	25,136	24,517	24,496	52,828
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	24,629	25,136	24,517	24,496	52,828
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	5,524	0	0	0
一般財源	24,629	19,612	24,517	24,496	52,828
財源計(G+D)	24,629	25,136	24,517	24,496	52,828

所属	会計室
事務事業番号	00790

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	財務会計システムの安定稼働状況	日	目標値	365.00	365.00	0.00
			実績値	365.00	365.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	システムの稼働日数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	68.87	67.11	
			一般財源(千円)	53.73	67.11	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		個	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	財務会計システム事業については地方自治法により、実施が定められた業務に必要なシステムの管理・運用であり継続が必要であると考えます。 また、今後については、平成31年度の財務会計システムのサーバ等の機器更新に伴い、情報政策室が管理する仮想化基盤への財務会計システムの移行や平成37年度の本稼働に向けた財務会計システムの再構築を計画している。

事務事業分析シート

2018/6/149-08

所属名	会計室	事業名	財務会計システム事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00790				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five categories: 妥当性 (top, score 20), 有効性 (right, score ~18), 効率性 (bottom-right, score ~15), 公平性 (bottom-left, score ~10), and 持続可能性 (left, score ~12). The chart has concentric lines at intervals of 5, from 0 to 20.</p>		
(3)現状分析	<p>現在、事業の中核は保守運用となる。 今後については、平成31年度の財務会計システムのサーバ等の機器更新に伴い、情報政策室が管理する仮想化基盤への財務会計システムの移行や平成37年度の本稼働に向けた財務会計システムの再構築を計画している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--